



地域日本語支援ニュース こだま 第 396 号

2021.2.11

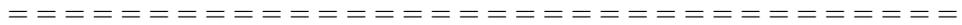


★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT) 発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>



■日本語教育相談から■

AJALT の「地域で活動する日本語支援者のための“日本語教育相談”」には、各地から様々なご相談をお寄せいただきます。今号では、生活日本語を学ぶための教室で学習者の支援に当たられている方からのご質問と回答をご紹介します。

.....

◆相談内容

ゼロ初級のアラビア語圏学習者に対する支援の方法についてアドバイスをお願いします。ひらがな、カタカナが未習得で、ローマ字表記も読めないため、アラビア語訳を付けた語彙リストがあっても、助けになっていません。

まずは、ひらがな学習を進める必要があると思いますが、アラビア語圏の学習者の役に立つ教材や、便利なアプリなどありますか？

また、アラビア語に限らず、媒介語、文字の助けがない場合の初期指導に関して、実践例がありましたらご紹介ください。

生活の日本語を学ぶための講座で、マンツーマンではなく、クラス活動を行っていますので、一人だけにサポートをつけることもできない現状で、本人の自習方法についても、アドバイスをいただくとありがたいです。

◆回答

ゼロ初級のアラビア語話者学習者とのこと、クラス活動に参加してもらうためにはご苦勞も多いことと思います。おっしゃる通り、まずはひらがなを習得する必要がありますね。クラスでひらがな学習をする時間が取れないとすれば、自習してもらうことになるでしょうか。

◇音と文字をセットで覚える

仮名文字の学習をする際に大切なことは、「音と文字をセットで覚える」ことです。特にご相談の学習者のようにローマ字表記も読めないということであれば、一つひとつの文字を音で確かめながら練習する必要があります。今は、オンラインで文字学習ができるサイトがたくさんありますから、そのようなサイトを紹介して自習してもらおうといいでしょう。

例えば、以下のサイトはNHKの「やさしい日本語」の中の文字学習のページですが、50音表の各文字をクリックすると、書き順を確認したり、発音を聞いたりすることができます。

<https://www.nhk.or.jp/lesson/en/letters/hiragana.html>

また、国際交流基金の「Hiragana Katakana Memory Hint」は、楽しく覚えるためのヒントやゲームなどもあり、スマホにダウンロードして使えば、ちょっとした空き時間にも楽しく学習することができます。(無料)

<https://kansai.jpf.go.jp/ja/kanamemoryhint.pdf>

◇「あいうえお」の聞き分けを大切に

アラビア語の母音は「a」「i」「u」の3つしかないそうです。「e」「o」は母語にはない音ですから、最初に「あいうえお」を学習する段階で、しっか

りと5つの音を聞き分けられるようになることが大切です。基本の母音が正しく発音できるようになれば、他のほとんどのひらがなは子音と母音のセットですから、こちらの発音も自ずと正しくなります。

◇絵辞典の活用

新出語彙を提出する時は、ゼロ初級者であれば、絵辞典を活用するといいいでしょう。以下の文化庁のサイトでは「にほんごえじてん」をダウンロードすることができます。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nanmin_nihongokyoiku/kyozai_1/

◇一文字ずつ指して発音する

単語レベルでも、音と文字をつなげて覚えることが効果的です。

例えば「さかな」という単語を覚えたら、50音表で「さ・か・な」を指しながら、一文字ずつ発音します。この時に、先に紹介した「Hiragana Katakana Memory Hint」の「Hiragana Table」を使えば、一文字ずつ指すたびに音が出ますから、自習でも正しい音を確認できます。ノートに「さかな」と書いたら、それも一文字ずつ指して発音します。地道な繰り返しですが、こうすることで、単音から単語、さらに文レベルでひらがなを使いこなせるようになります。

日本語のかな文字は、一つの音と対応していますから、すぐに文レベルでも書けるようになる点で、読み書きが容易な言語であるとも言えるのです。（もちろん、漢字の習得まで考えると、別の意味での難しさはあるのですが）

◇視覚資料の活用

さて、「媒介語や、文字の助けがない場合の初期指導」ですが、いわゆる「ことばに頼らない」指導が原則になりますから、イラストや写真、現物、動画等の視覚資料を大いに活用してください。

生活の日本語を学ぶ学習者には、それぞれが母国での生活体験があるわけですから、日本語は分からなくても、生活の一場面の内容を理解したり推測

したりすることはできるはずですが、その場面に必要な単語や表現を紹介しながら、必要な日本語を聞いたり話したりできるようにしていきます。

以下も文化庁のサイトですが、「はじめましてにほん」という教材をダウンロードすることができます。これは、タイ国境の難民キャンプから来日した第三国定住難民のために作られた教材ですが、媒介語がないことが前提ですから、イラストが豊富で、無理なく初歩的な日本語が学べるようになっています。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nanmin_nihongokyoiku/kyozai_2/index.html

◇グループ授業で

グループ授業の中にゼロ初級者が入ると、クラスの流れについていくのがなかなか大変かもしれませんが、クラスメイトを真似て話すことも効果的な学習方法です。真似ることを繰り返すことが、自力での発話につながっていきます。

◇自習教材

最後に、アラビア語話者が自習に使える教材ですが、先に挙げた NHK の「やさしい日本語」は 18 言語に対応しており、その中にアラビア語も含まれます。

「会話」と「文法」に分かれていますが、「会話」の方はアラビア語の字幕付きで動画を見ることができます。アラビア語の音声解説もあります。

「文法」の方では、「会話」に収録された動画のアラビア語スクリプトや、取り上げた学習項目のアラビア語解説を読むことができます。生活の様々な場面や旅行先での会話などもあり、一人でも楽しく学習できる内容になっています。

◇なお、「はじめましてにほん」のガイドブックが、文化庁の NEWS（日本語教育コンテンツ共有システム）に公開されましたので、こちらも合わせてご利用ください。

<http://www.nihongo-ews.jp/contents/view/%3Fid%3D1304>

(回答者：公益社団法人 国際日本語普及協会 所属教師 宮下しのぶ)
